

令和2年在宅医療・介護に関するアンケート調査概要

■調査目的

宇城市における医療と介護の連携の状況、連携における現状・課題等を把握し、今後の在宅医療・介護連携推進事業の取り組みに活用する。

■調査対象

医療機関：44 歯科医療機関：28 調剤薬局：30

介護保険事業所：153 有料老人ホーム：38 合計：293ヶ所

■調査方法と調査機関

(1) 郵送配布（角2封筒） 返信用封筒（長3封筒）にて郵送回収

(2) 調査期間：令和2年10月2日～令和2年10月26日

■その他

・アンケート結果は宇城市社会福祉協議会のホームページ内に公開する

■在宅医療・介護連携に関するアンケート調査対象数と調査結果

事業種別	調査対象	対象票数 (H30)	有効回収票数(件) (H30)	有効回収率(%) (H30)
①	医療機関	44 (44)	25 (28)	56.8 (63.6)
②	歯科医療機関	28 (28)	9 (16)	32.1 (57.1)
③	調剤薬局	30 (28)	18 (16)	60 (57.1)
④	介護保険事業所	153 (157)	112 (94)	73.2 (67)
⑤	有料老人ホーム	38 (36)	25 (25)	65.8 (65.4)
	不明		4	
	全アンケート総数	293 (318)	193 (207)	65.9 (65.1)

■全体の回収率としては前回とほぼ同率に近いものであった。しかし、医科、歯科の回収数が減。特に歯科が少なく全歯科数の3割程度の回答。介護保険事業所を除いては回答数が7割を割っており、本アンケートの意見がそのまま、各分野の状況、意見とは言い難いところがある。

在宅医療・介護連携に関するアンケート

共通質問1 現在、他の事業所との連携はできていますか？

	医科	歯科	調剤 薬局	介護保険 事業所	有料老人 ホーム	未回答	全体
十分できている	3	0	1	16	7	0	27
概ねできている	15	2	2	83	17	3	122
あまりできていない	5	1	11	10	1	1	29
できていない	1	6	3	1	0	0	11
未回答	1	0	1	2	0	0	4

■傾向と前回アンケート（平成30年）との比較

歯科、調剤薬局以外は「概ねできている」と回答しているところが最も多かった。前回（平成30年）の調査でも同様の結果が出ている。前回の調査と比較すると「十分できている」と回答している総数は減っている。「あまりできていない」「できていない」の総数が減少している。歯科、調剤薬局は「あまりできていない」「できていない」の回答が最大値。

共通質問2 現在、よく連携している事業所は？（最大3つまで）

	医科	歯科	調剤 薬局	介護保険 事業所	有料老人 ホーム	未回答	合計
病院	16	6	11	59	17	3	112
一般診療所	2	3	7	16	4	0	32
歯科診療所	1	2	0	15	5	1	29
薬局	9	0	6	9	4	0	28
訪問看護 ステーション	12	0	0	21	10	0	43
居宅介護支援事 業所(ケアマネ)	12	0	3	72	16	2	105
介護老人福祉 施設	3	0	3	6	0	0	12
介護老人保健 施設	0	0	1	6	0	0	7
訪問介護事業所	1	0	0	19	9	0	29
通所介護・リハ 事業所	1	0	0	29	5	0	35
短期入所生活 (療養)介護	0	0	0	3	0	0	3
有料老人ホーム	5	1	3	33	1	0	43
地域包括支援 センター	7	0	0	32	3	2	44
行政	2	0	0	9	2	0	13
その他	0	0	1	1	0	0	2
未回答	0	1	1	0	0	0	2

■全体では「病院」112、居宅介護支援事業所（ケアマネジャー）105、地域包括支援センター44の順になっている。

共通質問2を事業種ごとにまとめたものが以下の表となっている

医療系

福祉系

【事業種別】 上位3項目まで抽出

医科	病院	16	訪問看護 ステーション	12	ケアマネ ジャー	12
歯科	病院	6	一般診療所	3	歯科診療所	2
調剤薬局	病院	11	一般診療所	7	薬局	6
介護保険 サービス 事業所	ケアマネ ジャー	72	病院	59	有料老人ホーム	33
有料老人 ホーム	病院	17	ケアマネジャー	16	訪問看護 ステーション	10

■傾向と前回アンケート（平成30年）との比較

前回と同様に歯科、調剤薬局に福祉系との連携、特に「ケアマネジャー」が入っていない。有料老人ホームとの連携が上位3に入っている。全体的にみても有料老人ホームとの連携はUPしている。

共通質問3 連携をとりやすい職種は？(最大3つまで)

	医科	歯科	調剤 薬局	介護保険 事業所	有料老人 ホーム	未回答	合計
医師	7	5	13	14	6	2	47
歯科医師	0	5	2	2	0	1	10
薬剤師	7	1	6	4	1	0	19
看護師	14	2	9	40	10	2	77
歯科衛生士	0	1	0	8	2	0	11
保健師	1	1	0	1	0	0	3
ケアマネ ジャー	18	0	7	80	20	3	128
管理栄養士・ 栄養士	0	0	0	6	1	0	7
社会福祉士	2	0	0	7	0	1	10
医療ソーシャル ワーカー	8	0	2	47	6	0	63
介護福祉士	0	0	1	17	4	0	22
ヘルパー	1	0	2	18	13	0	34
リハビリ職	0	0	0	20	2	0	22
その他	0	0	1	1	0	0	2
未回答	1	2	0	1	1	0	5

■ 「ケアマネジャー」128、「看護師」77、「MSW」63、「医師」47、「ホームヘルパー」34の順。H30は「ケアマネジャー」、「看護師」、「医師」、「MSW」、「ホームヘルパー」の順で医師とMSWの順が入れ替わった。

共通質問3を事業種ごとにまとめたものが以下の表となっている

医療系

福祉系

【事業種別】 上位3項目まで抽出

医科	ケアマネジャー	18	看護師	14	MSW	8
歯科	医師	5	歯科医師	5	看護師	2
調剤薬局	医師	13	看護師	9	ケアマネジャー	7
介護保険事業所	ケアマネジャー	80	MSW	47	看護師	40
有料老人ホーム	ケアマネジャー	20	ヘルパー	13	看護師	10

■傾向と前回アンケート（平成30年）との比較

- ・MSWが医科の3位にランクUP
- ・調剤薬局にケアマネがランクイン（前は福祉系職種はランクなし）
- ・介護保険事業所の連携にMSWランクUP
- ・看護師は全ての業種の分野でランクイン。
- ・3事業種で「ケアマネジャー」が最も連携がとりやすい職種となっているのはH30と変わらず。

共通質問4 連携を取りやすい理由は？(最大3つまで)

	医科	歯科	調剤薬局	介護保険事業所	有料老人ホーム	未回答	合計
職種の専門性を理解している	8	6	9	33	6	1	63
患者(利用者)の症状等の共有ができる	19	5	13	62	15	2	116
役割分担が明確	4	3	5	20	7	0	39
目的が一致している	5	0	3	26	1	1	36
相談しやすい環境ができています	4	0	3	53	13	2	75
連携の経験がある	4	0	1	16	1	2	24
その他	0	0	0	0	0	0	0
未回答	1	2	0	1	1	0	5

■「患者（利用者）の症状等の共有ができる」116で最も多く、次いで「相談しやすい環境ができています」75、「職種の専門性を理解している」63となっている。

共通質問4を事業種別にまとめたものが以下の表となっている

【事業種別】 上位3項目まで抽出

医科	患者(利用者)の症状等の共有ができる	19	職種の専門性を理解している	8	目的が一致している	5
歯科	職種の専門性を理解している	6	患者(利用者)の症状等の共有ができる	5	役割分担が明確	3
調剤薬局	患者(利用者)の症状等の共有ができる	13	職種の専門性を理解している	9	役割分担が明確	5
介護保険事業所	患者(利用者)の症状等の共有ができる	62	相談しやすい環境ができています	53	職種の専門性を理解している	33
有料老人ホーム	患者(利用者)の症状等の共有ができる	15	相談しやすい環境ができています	13	役割分担が明確	7

■傾向と前回アンケート（平成30年）との比較

患者（利用者）の症状等の共有ができるが一番多い理由となっている。

共通質問5 連携をとりにくい職種は？(最大3つまで)

	医科	歯科	調剤 薬局	介護保険 事業所	有料老人 ホーム	未回答	合計
医師	8	0	3	63	4	0	78
歯科医師	5	0	1	28	1	0	35
薬剤師	1	1	1	24	0	0	27
看護師	2	0	2	3	0	0	7
歯科衛生士	4	0	2	5	0	0	11
保健師	1	0	2	17	4	0	24
ケアマネジャー	3	3	5	2	0	1	14
管理栄養士・栄養士	7	1	7	18	2	0	35
社会福祉士	1	2	3	7	1	0	14
医療ソーシャル ワーカー	1	2	4	8	1	0	16
介護福祉士	0	1	2	0	0	0	3
ヘルパー	2	1	2	1	0	2	8
リハビリ職	1	1	4	8	0	0	14
その他	4	0	0	12	4	0	20
未回答	5	5	1	7	10	2	30

■「医師」78、「歯科医師」、「管理栄養士/栄養士」35、「薬剤師」27の順になっている。これはH30と同様の結果。

共通質問5を事業種ごとにまとめたものが以下の表となっている

医療系 福祉系

【事業所別】 上位3項目を抽出

医科	医師	8	管理栄養士／ 栄養士	7	歯科医師	5
歯科	ケアマネジャー	3	MSW	2	社会福祉士	2
調剤薬局	管理栄養士／ 栄養士	7	ケアマネジャー	5	MSW リハ職	4
介護保険事業所	医師	63	歯科医師	28	薬剤師	24
有料老人ホーム	医師 保健師	4	保健師	4	管理栄養士／ 栄養士	2

■傾向と前回アンケート（平成30年）との比較

医療系の回答数が少ないので単純に前回と比較する事ができないところがあるが、医療系は福祉系職種、福祉系は医療系職種に苦手意識がある事は否めない。

共通質問6 連携をとりにくい理由は(最大3つまで)

	医科	歯科	調剤 薬局	介護保険 事業所	有料老人 ホーム	未回答	合計
職種の専門性の理解 がない	4	2	3	3	0	1	13
患者(利用者)の症状 等の共有ができない	2	2	1	1	2	0	8
役割分担が明確 でない	3	2	1	7	0	1	14
目的が一致して いない	2	1	0	7	0	0	10
相談しやすい環境が できていない	8	3	8	67	7	0	93
連携の経験がない	7	3	10	38	5	1	64
その他	1	0	0	13	2	0	16
未回答	8	3	1	12	11	2	37

■「相談しやすい環境ができていない」93と最も多く、次いで連携の経験がない64となっている。

共通質問6を事業種別ごとにまとめたものが以下の表となっている

【事業所別】上位3項目まで抽出

医科	相談しやすい環境ができていない	8	連携の経験がない	7	患者(利用者)の症状等の共有ができない	4
歯科	相談しやすい環境ができていない	3	・職種の専門性を理解していない ・患者(利用者)の症状等の共有ができない ・役割分担が明確でない	2		
調剤薬局	連携の経験がない	10	相談しやすい環境ができていない	8	職種の専門性を理解していない	3
介護保険事業所	相談しやすい環境ができていない	67	連携の経験がない	38	・役割分担が明確でない ・目的が一致していない	7
有料老人ホーム	相談しやすい環境ができていない	7	連携の経験がない	5	患者(利用者)の症状等の共有ができない	2

■傾向と前回アンケート（平成30年）との比較

前回と同様の結果がでている。「相談しやすい環境ができていない」が最も多い意見で「連携の経験がない」が次ある。

共通質問7 今後、連携したい事業所は(最大3つまで)

	医科	歯科	調剤 薬局	介護保険 事業所	有料老人 ホーム	未回答	合計
病院	8	2	6	49	7	1	73
一般診療所	5	1	4	12	2	0	24
歯科診療所	2	0	1	12	2	0	17
薬局	3	0	2	16	1	0	22
訪問看護 ステーション	3	4	9	14	0	0	30
居宅介護支援事 業所(ケアマネ)	7	3	9	31	6	2	58
介護老人福祉 施設	3	1	3	5	3	0	15
介護老人保健 施設	0	1	2	7	2	0	12
訪問介護事業所	1	1	0	3	2	0	7
通所介護・リハ 事業所	0	0	1	7	1	0	9
短期入所生活 (療養)介護	1	0	0	4	0	0	5
有料老人ホーム	1	0	2	16	1	0	20
地域包括支援 センター	3	1	5	32	9	1	20
行政	4	0	1	21	6	0	32
その他	2	0	0	13	0	0	15
未回答	4	4	1	7	5	2	23

■「病院」73と最も多く、次いで「ケアマネジャー」58、「行政」32となっている。

共通質問7を事業種ごとにまとめたものが以下の表となっている

医療系

福祉系

医科	病院	8	ケアマネジャー	7	一般診療所	5
歯科	訪問看護ステーション	4	ケアマネジャー	3	病院	2
調剤薬局	・ケアマネジャー	9	病院	6		
	・訪問看護ステーション					
介護保険事業所	病院	49	地域包括支援センター	32	ケアマネジャー	31
有料老人ホーム	地域包括支援センター	9	病院	7	・ケアマネジャー ・行政	6

■傾向と前回アンケート（平成30年）との比較

「医科」「歯科」「調剤薬局」にケアマネジャーとの連携が上位にきている。前回と比較すると全ての職種にケアマネジャーとの連携が上位3にあがっている。福祉系は「病院」との連携が上位にあがっている。

共通質問8 本市の医療と介護の連携は進んでいると感じますか？（○は1つ）

	医科	歯科	調剤薬局	介護保険事業所	有料老人ホーム	未回答	合計
非常に感じる	0	0	0	2	1	0	3
感じる	13	0	4	57	14	1	89
あまり感じない	10	5	13	48	10	3	89
全く感じない	0	1	1	2	0	0	4
未回答	2	3	0	3	0	0	8

■「非常に感じる」「感じる」が合計92

「あまり感じない」「全く感じない」の合計が93

1差であるが連携は進んでいないという意見の方が多い。

歯科、調剤薬局は「あまり感じない」の意見が最大値。

日常業務における、多職種との情報共有について伺います。

共通質問 9

入退院時の情報提供をはじめとして、医療と介護の切れ目ない連携はできていますか？(○は1つ)

	医科	歯科	調剤 薬局	介護保険 事業所	有料老人 ホーム	未回答	合計
十分にできている	1	0	0	6	2	0	9
概ねできている	21	1	9	92	21	4	148
あまりできていない	1	2	5	14	1	0	23
できていない	0	2	4	0	0	0	6
未回答	2	4	0	0	0	0	6

■どの職種も「概ねできている」という回答が多かった。

医療と介護の連携が進んでいるという実感は乏しいが、実業務での連携は「概ねできている」という意見が多いので、元々患者（利用者）を通じてのやりとりは業務上必要な事をして実施されていると考える。

共通質問 10

多職種とのつながりにおける患者・利用者の主な情報共有方法は？（〇は1つ）

	医科	歯科	調剤 薬局	介護保険 事業所	有料老人 ホーム	未回答	合計
主にカンファレンスなどの会議	0	0	1	27	13	1	42
電話	13	1	11	58	8	3	94
FAX	1	1	3	6	3	0	14
パソコンのメール	0	0	0	0	0	0	0
書面	8	4	1	37	7	0	57
SNSによる情報交換	0	0	1	0	0	0	1
ICTの活用	1	0	0	0	0	0	1
その他	1	0	1	1	0	0	3
未回答	1	3	2	0	0	0	6

■「電話」94、「書面」57、「カンファレンスなどの会議」42の順となっている。

共通質問 10 を事業種別にまとめたものが以下の表となっている

医科	電話	13	書面	8		
歯科	書面	4				
調剤薬局	電話	11	FAX	3		
介護保険サービス事業所	電話	58	書面	37	カンファレンス等の会議	27
有料老人ホーム	カンファレンス等の会議	13	電話	8	書面	7

■情報やり取りのしやすさ、スピード感という事では電話の利用が一番効率が良い。そういった実情を踏まえると、誰にどの時間帯に連絡すればよいかなどの情報があると、効率よく電話を活用する事ができる。

福祉系はカンファレンスでの情報共有も多く、コロナ禍でのカンファレンスの在り方は情報共有、連携を左右するところがある。

共通質問 11 多職種共有のための情報共有ツールを利用した事がありますか？利用したことがある情報共有ツールをお答え下さい（いくつでも記入可）

	医科	歯科	調剤 薬局	介護保険 事業所	有料老人 ホーム	未回答	合計
くまもとメディカル ネットワーク	5	0	4	11	0	0	20
うともんネット	1	0	0	3	1	0	5
その他の情報共有 ネットワーク	1	0	0	2	0	0	3
紙媒体の情報共有 ツール	13	1	8	49	15	2	88
お薬手帳	11	1	10	29	15	2	68
糖尿病連携手帳	4	0	4	4	3	2	17
私のノート	4	0	0	1	1	1	7
宇城市情報提供書式	3	0	0	23	4	0	30
所属する事業所の 情報提供書式	6	0	2	38	10	0	56
利用したことがない	3	4	5	35	6	2	55
その他	0	1	0	1	0	0	2
未回答	2	3	0	2	0	0	7

■使用したことがある情報共有ツールとしては「紙媒体の情報共有ツール」88、「お薬手帳」68、「所属する事業所の情報提供書式」56 となっている。

共通質問 1 1 を事業種別にまとめたものが以下の表となっている

医科	紙媒体の情報共有 ツール	13	お薬手帳	11	所属する事業 所の情報提供 書	6
歯科	利用した事がない	4				
調剤薬局	お薬手帳	10	紙媒体の情報共有 ツール	8	利用した事が ない	5
介護保険サービス 事業所	紙媒体の情報共有 ツール	49	所属する事業所の 情報提供書	38	利用した事が ない	35
有料老人ホーム	・紙媒体の情報共 有ツール ・お薬手帳	15			所属する事業 所の情報提供 書	10

■傾向

- ・紙媒体の情報提供が主流。
- ・3事業種でお薬手帳の活用がある。
- ・利用した事がないという意見も3事業種にあり。

質問 12 宇城市地域包括支援センターにおいても、在宅医療介護連携推進事業の取り組みとして多職種向けの連携ツール・情報を発信しています。活用した事があるものをお答え下さい（いくつでも記入可）

	医科	歯科	調剤 薬局	介護保険 事業所	有料老人 ホーム	未回答	合計
PC サイトにおける有料老人ホーム等、施設系サービス空き情報の閲覧	8	0	7	30	7	0	52
情報提供書式（シート）の活用	6	0	0	23	3	1	33
医療機関とケアマネジャーの入退院連携ルールの把握・活用	6	0	0	14	4	0	24
医療系・介護系事業所一覧情報の活用	8	0	2	39	5	0	54
在宅医療パンフレットの活用	1	0	0	6	0	0	7
包括支援センターへの直接相談	9	0	1	33	9	2	54
利用したことがない	8	5	9	33	4	2	61
未回答	1	4	1	10	2	0	18

- 医療・介護の事業所一覧、連携情報/包括支援センターへの直接相談 54。
PC サイトにおける施設の空き情報の発信 52。
「利用した事がない」 61 とう意見も目立つ。

質問 1 3 本事業を通して連携の意識や動きが変わった事があれば教えて下さ

(フリー記載)

■医科
カンファレンスを行う際は必ず連携先に声掛けをするようになった
各職種の体制について知る事ができた
相談しやすくなった
連携機関からの情報提供に際し電話による口答ではなく、文書を頂くことで確実な情報が得られ、聞き逃しや確認の重複が減った。相手へも文書での依頼を行いやすくなった
■調剤薬局
患者さんの情報提供が薬以外でもできる
■介護保険事業所
利用者様にはサービスの提案がしやすくなった
報連相の徹底(複数回答有)
病院との連携がスムーズになった
緊急時の判断や対応が素早くできる事によって被害を少なくすることができている
相談時等、気軽に電話しやすい環境がある(包括)、返信を必ず頂ける
PCサイトにおける有料等施設の空き情報閲覧ができてからは的を絞って相談できるようになって助かっている
連携は難しい事を確認した(もともとの目標が違うから)
医療=ケガ病気と話す、介護=居宅での生活を守る
正確な情報共有に努めている
情報、連携のツールを活用していこうと思う
事業所一覧や空き室情報で利用者、他機関との連携がスムーズになった
医療との連携の必要性は感じているが、病院へ出向いてNsやPTさんと情報交換する機会が増えた
市外の医療機関との連携についても積極的に働きかけを行う様になった
■有料老人ホーム等
空き情報を活用してホームが満室の時は近隣施設の空きをアナウンスしている。他施設に入所されたこともあり、その後何かあれば情報交換できる関係が今も続いている

質問 14 ICT (WEB 会議等) を活用した連携を行っていますか? (○は1つ)

ICT (WEB 会議等) を活用した連携を行っていますか? (1はひとつ)	計		1 医科	2 歯科	3 調剤薬局	4 介護保険事業所	5 有料老人ホーム・ケアハウス	6 未回答
行っている	36	19%	5	0	2	26	2	1
行っていない	138	72%	19	8	15	74	19	3
未回答	19	10%	1	1	1	12	4	0

■ 「行っている」 36、「行っていない」 138。「行っている」という意見は全体の2割も満たない。(回答総数 193)

質問 15 質問 14 で「1.行っている」と回答された方にお伺いします。利用した事がある連携ツールをお答え下さい (いくつでも記入可)

利用した事がある連携ツールをお答え下さい (いくつでも記入可)	計		1 医科	2 歯科	3 調剤薬局	4 介護保険事業所	5 有料老人ホーム・ケアハウス	6 未回答
ZOOM	29	15%	5	0	2	19	2	1
Facetime	9	5%	1	1	1	6	0	0
Skype	3	2%	1	0	0	2	0	0
その他 ■その他記載へ	1	1%	0	0	0	1	0	0
未回答	156	79%	20	8	16	86	23	3

■ZOOM の利用が一番多い

質問16 質問15で「2.行っていない」と回答された方にお伺いします。今後、ICTツールの導入、活用予定はありますか？（○は1つ）

活用予定はありますか（1は一つ）	計		1 医科	2 歯科	3 調剤薬局	4 介護保険事業所	5 有料老人ホーム・ケアハウス	6 未回答
導入に向けて準備している ■ 導入ツールはフリー記載へ	8	4%	3	0	0	5	0	0
導入を検討している	43	22%	3	1	6	26	7	0
導入予定はない	83	43%	12	7	8	40	13	3
未回答	57	30%	6	1	4	40	5	1
その他	1	1%	0	0	0	1	0	0

■「導入に向けて準備している」8、「導入を検討している」43。全回答（回答総数192）の3割にも満たない。ICTツールの普及はまだだ。導入ツールとしてはZoom（複数回答あり）teamsなど。

**【コロナウイルス感染予防対応禍での連携について伺います。業務の中で支障が
でている事、困っている事を教えてください】 フリー記載**

■医科

情報不足

入所者や介護施設の職員が受診しないように指示している事業所がある。やりすぎだと感じる

訪問介護や対面診療が一部制限されてしまう

面会が難しく支援者の情報共有を電話や書面で行っている。「百聞は一見にしかず」の為、どこまで伝えられているか不安がある

■調剤薬局

コロナの経験で改善すべきことを学べ、今後の業務を見直していきたい

情報収集が十分にできない

対人に勝るものはないが、バランスを考え ICT や感染の勉強をしなければならない

薬局なので血液検査等を受けずに処方箋のみ持参されると薬の説明はできるが、本人の体調管理について説明しにくい

■介護保険事業所

病院での面会やカンファレンスが出来なかった事から、退院時の不安が大きかった。

家族と利用者の面会が出来ず、家族様が面会したい事を伝えられるも難しい状況です

入院中の利用者の面会制限があり、病院の情報と実際がかなり違う

感染しない、させないように努力しているが、入所者様のストレス発散方法を考える時がある

訪問、面談、状況把握が難しい

外で行う行事や慰問の人たちを呼ぶことができなくなったこと
利用前の事前面談が出来ない事
直接会う事が困難
入院中の面会が出来ず、経過がつかめない
他県からくる親族の対応
行政、介護事業所の施設内の立ち入りに感染リスクがあるが、必要なこともあり判断に困る
県外の家族と会えない(サービス利用が出来なくなる為)、外出が制限される等、ご本人ご家族に負担を強いている
面会制限、外出制限の中、認知症の方は特に不安や不信感が増えている
マスク着用での相談業務にて会話など伝わりにくい
感染予防に伴い入院、入所先へ出向き、直接ご本人を確認できない事がある。(電話等による聞き取りで対応となっている)
ICT環境が整わないと！
利用者様の利用控えなどで困っている。施設利用者と在宅利用者を一緒に利用させない等の配慮で運営的に困っている
カンファレンスなどで本人のADLレベルなどを口頭でリハスタッフやNsが聞き取っている(コロナで直接会えない為)が、退院後自宅での本人の動きが聞いていたレベルより悪い事が多く、調整のやり直しや環境の見直し、プランの修正など2度手間等が多く、リモートや面会制限が支障となって困っている。かなり疲弊している
ケアマネやその他の機関と以前の様に密に相談する機会が減っており、担会などもなくなり一緒に検討する場が減少している
WEB会議等の利用の利点等を知りたい
カンファレンスなど参加できず、利用者の情報が得にくい
有料等、面会制限があり本人と面会が出来ずリアルタイムな連携ができない
利用者様の状況など面会が出来ないと言葉で伝える事が多く、正確な情報共有ができていないのか心配
面会が出来るようになっても感染リスクはある為、不安あり
面談調整が上手く行えない職員がいる
一番は利用者が家族と密に面会が出来なくなっている事。コロナについて説明してもほとんどの方が理解できず、不穏状態になったりされている
面会できない事で利用者の不穏(複数回答有)
衛生用品不足による高騰(マスク、手袋)
ご家族様との面談→現在ツールを検討中
面会(家族等)での感染リスクを下げる為、面会禁止で対応を統一しているが、いつまで継続すればいいのか先が見えない為困っている
本人、家族含めたメンタルケア等、それに向けてICT活用等の検討中ではある
利用者病院受診時等の感染のリスク
入院中の利用者の面会制限があり、病院の情報と実際がかなり違う

一部の有料老人ホームが外部サービス利用をさせてくれない
利用者が利用を望んでも、もしもコロナに感染したら施設から出て自宅に帰ってもらうなどといわれるケースがあった
現時点では時に困っていないが、いつまでこの状況が続くのか、またクラスターなどが起きた時の事を考えると不安はある
顔を合わせる機会が減ったこと
入所、入院中の利用者さんの面会制限がある事
有料の施設で本人に全く会えない所もある
ガラス越しや遠くから本人を確認する(入院、施設収書者)のみであり、本人と十分にコミュニケーションが取れない中で、プラン作成する事になり、意向や目標設定がしにくい。
本人に合えない為、本人の思いをくみ取るのが難しい
どうしても施設外の出入りが発生する(荷物搬入、薬局、訪問診療等)(複数回答有)
手洗いや消毒にとられる時間が増えて活動として使える時間が減少している。レクレーションの内容等に制限が必要になってしまう。
施設の仕事との完全分業が出来ていない為、リスクが伴う
利用希望の相談があった場合でも、面会制限により、医療機関や他施設の訪問調査ができず、情報収集が不十分である事がある
医療機関や他施設へ利用希望者がいる場合でも訪問調査が出来ず情報収集が不十分である(複数回答有)
有料老人ホーム等入居中のご利用者様との面談が長期にわたり行えない状況になっている。保護シートの活用等の工夫をしてもらい、対面でのモニタリングができる環境を整えたいと感じている
入院中の方の状態が分からず、ケアマネからの情報が少ない
誰がいつどこで感染するかわからない状況である為、感染予防を徹底していても恐怖でしかない
新規の入居利用者様の情報は書面等や担当ケアマネより提供して頂けるが、本人様に直接面会が出来ない為、入居された際に、上皇と相違を感じる時がある
介護調査や施設見学、面会等に制限があり業務がスムーズに進まない事が多々ある
集まって行う会議が行われず、連携がとりづらくなった
多職種との連携がとりにくい為、十分な看護の提供ができない
入院中のご利用者の状態確認が医療機関によってはできない事。目視で確認しないと分からない事がある
施設入居者との面会禁止の措置を取られている為、直接対話が出来ず細かい観察ができない
■有料老人ホーム等
今はそうでもないが、当初は各事業所がピリピリしていて対応に嫌な思いをしたことがある。
有料老人ホームがそこまで責任を負わなければいけないのかと思った時期があった
病院や施設、事業所への面会や訪問制限があり利用調整や状態確認などが十分にできなくなった
利用中の利用者様へのマスク着用の声掛けが難しく感じている
予定していた研修が中止になってしまった事
病院が面会禁止となっている為退所されるまで利用者との面談ができない事がある(コミュニケーション

が困難な利用者は WEB による面談が難しい)
訪問事業として実施している状況ではあるが、いつ、どこで、どのような感染があるかもしれないとの不安の中で業務として当たらなければならないスタッフの指針的ストレスの解消が難しく、利用者の在宅生活に不安を与えてしまわないかと思っている
面会制限の中で窓越しで面会をすることがあるが、利用者様とご家族様共に限界に近い状態
面会制限があるので、新規受け入れ時など状態把握ができづらい
施設職員に行動自粛をしている。見えない不安の中、スタッフのストレスケアがなかなかできず、利用者へ不安を与えてしまわないかと心配している
対面でのやり取りが難しくなっているので、退院前の自宅訪問や院内カンファレンスを、ケースによっては控えている為、情報共有や引継がスムーズにできているのかなと思う事がある
有料老人ホームより外出禁止の指示があり担当の利用者が希望している外部のサービスが利用で着ない事
担当者会議があまりできていない、文書による照会でしか行えていない
入所施設での面会制限にて部屋の様子など確認ができない